

学校給食センターの両市町による 共同利用状況について

すいすいキッチン

資料 1



富里市学校給食センター



- 現在の学校給食センター施設は、老朽化した二つの共同調理場を統合して建て替えた施設で、平成26年9月から給食の提供を開始いたしました。
- 1日当たり、最大4,500食の調理規模で設計された施設であり、共同利用開始前の年度は、富里市立小中学校及び市立幼稚園に約3,500食の給食を提供しておりました。
- 少子化による児童生徒の減少傾向に伴い、調理設備の余力が生まれてきたことから、その活用方法の検討を開始いたしました。
- 活用方法の検討に当たっては、①高齢者向け弁当、②市内福祉施設への給食提供、③市立認定こども園への給食提供、④老朽化等で学校給食施設の更新を必要とする近隣市町への給食提供について検討を行いました。
- 検討の結果及び合理性の評価から、本来の学校給食機能を活用することが最善であると判断し、老朽化等により学校給食施設の在り方を検討されていた酒々井町と協議を進めてきました。



- 酒々井町との協議に当たり、両市町で構成する「富里市・酒々井町学校給食センター共同利用検討会」や調理業務等委託事業者を交え、共同利用を行った場合のシミュレーションを行い、追加が必要な設備や食材の調達、献立立案などについて検討を行いました。
- 検討の結果、一時的には初期費用の投資が必要となるものの、運営経費の削減により、初期費用の回収が可能であることが確認できたことから、両市町による本格的な協議を開始いたしました。
- 令和6年6月24日に「学校給食事務の委託に関する協定」を締結し、「共同利用開始日」、「初期費用の負担割合」、「共同利用開始後の調理業務等委託料及び経常経費の負担割合」などについても、両市町で合意に至りました。



2 調理業務等委託契約について

- 令和7年5月入札実施
6月2日契約締結 株式会社東洋食品
(入札前から富里市及び酒々井町の調理業務等を受託している事業者)

3 給食事前テストについて

- 令和7年8月21日(木)実施。
- 当日は、富里市(小学校7校、中学校3校、幼稚園2園)、
酒々井町(小学校2校、中学校1校)各校(園)へ給食を提供。

学校給食センターの愛称募集について

- 共同利用の開始を契機として、富里市学校給食センターに親しみや学校給食に対する関心を高めるため、両市町の児童・生徒から愛称を募集。
- 募集期間：令和7年6月9日～7月7日まで
- 対象は小学校4年生以上の児童・生徒。
- 8月上旬に市長、町長を含めた審査会にて愛称を決定しました。



（富里特産のすいか及びしすいの「すい」を合わせました。）

※ ロゴについては、本市との大学連携協定により日本大学芸術学部にて作成協力をいただきました。

- 決定に伴い8月19日（火）に愛称が採用された児童・生徒をお招きして賞状の贈呈式を開催いたしました。



5 富里市産・酒々井町産食材の使用について

- 富里市学校給食センターでは、地産地消の観点から市内産の食材を積極的に使用しており、野菜・精肉の使用割合は概ね5割（47.6%）です。
- 酒々井町産の食材（米・野菜・手作り味噌）の使用及び使用頻度については、富里市・酒々井町で協議し合意。

6 給食残菜のリサイクルについて

- 両市町ではこれまで焼却処分していた残菜は、共同利用開始以降については千葉市にある食品リサイクル施設へ搬入し、リサイクル処理（メタン化）を行うことを両市町で合意。

7 共同利用の開始について

- 令和7年9月2日(火)の二学期初日の共同利用開始日に両市町議員をお招きし学校給食センターにおいて、給食試食も兼ねた配送第一号便をお見送りする出発式を開催し、共同利用が開始されました。



共同利用開始から現在までの(受給数)の推移について

共同利用開始後、両市町合わせて約4,800食の給食を提供させていただいてありますが、現在に至るまで、特に大きなトラブル等なく、安定的な提供に繋がっております。

給食受給数(配食数)の推移【参考】

令和7年7月16日開始前最終日

富里市 3,521食 計3,521食

令和7年9月2日開始時点

富里市 3,537食 酒々井町 1,233食 計4,770食

令和8年7月1日現在

富里市 3,427食 酒々井町 1,211食 計4,638食

